「第100回全日本選手権大会」で男子ペアが初優勝

富山国際大学

富山国際大学（富山市）のボート部が、公益社団法人 日本ボート協会（事務局東京・新宿区）主催のもと５月 12 ～ 15 日に海の杜水上競技場（東京都江東区）で開催された「第 100 回全日本選手権大会」に出場。激闘を制し、現代社会学部現代社会学科で学ぶ３年次・橋口拓未さん（宮崎県立宮崎商業高等学校出身）と２年次・倉内洋輝さん（京都府立東舞鶴高等学校出身）の男子ペアが見事優勝を果たした。なお、同大の男子種目での優勝は今大会が初。

嬉しい結果は続く。男子軽量級ペアの４年次・内野大輝さん（富山県立富山工業高等学校出身）と長谷川涼太さん（京都府立海洋高等学校出身）は準優勝し、男子クォドルプルの２年次・小林大翼さん（秋田県立本荘高等学校出身）と若崎晴斗さん（石川県立津幡高等学校出身）は３位入賞。女子ダブルスカルの４年次•沖田海里さん（島根県立江津工業高等学校出身）と３年次・西野萌恵さん（福井県立敦賀工業高等学校出身）は４位入賞し、女子クォドルプルの３年次・松尾美里さん（長崎県立大村高等学校出身）と２年次・下田羽音さん（富山県立八尾高等学校出身）、日野朱莉さん（愛媛県立今治南高等学校出身）、杉田葵さん（宮崎県立妻高等学校出身）は６位に入賞した。

勝利に向けて全力で漕ぎ抜き見事優勝を果たした

試合を振り返り、橋口さんは「決勝はどこも強いチームばかりで不安もありました。しかし、倉内と最後まで勝ちにこだわって漕ぎの改善を図ったことに加えて、みなさまからの熱いサポートがあったからこそ優勝できました」と、感謝の気持ちを口にした。

今回の大会には橋口さんらを含めた全８クルーが出場。すべてのクルーがＡ決勝またはＢ決勝に残る快挙を成し遂げた。

『大學新聞』第204号（令和4年6月10日発行）掲載